

**例題**

大中小3個のさいころを投げ、すべの目が奇数  
1, 3, 5 の3通り

$3 \times 3 \times 3 = 27$  (通り)

**応例** 正の約数は何個あるか

(1) 8

素因数分解

8の約数は 1, 2, 4, 8  
1, 2, 2<sup>2</sup>, 2<sup>3</sup>

$8 = 2^3$

4個

すなわち、 $2^3$ の約数は  $3 + 1 = 4$  個

約数は絶対

値があるから

(2) 72

素因数分解

$72 = 2^3 \cdot 3^2$

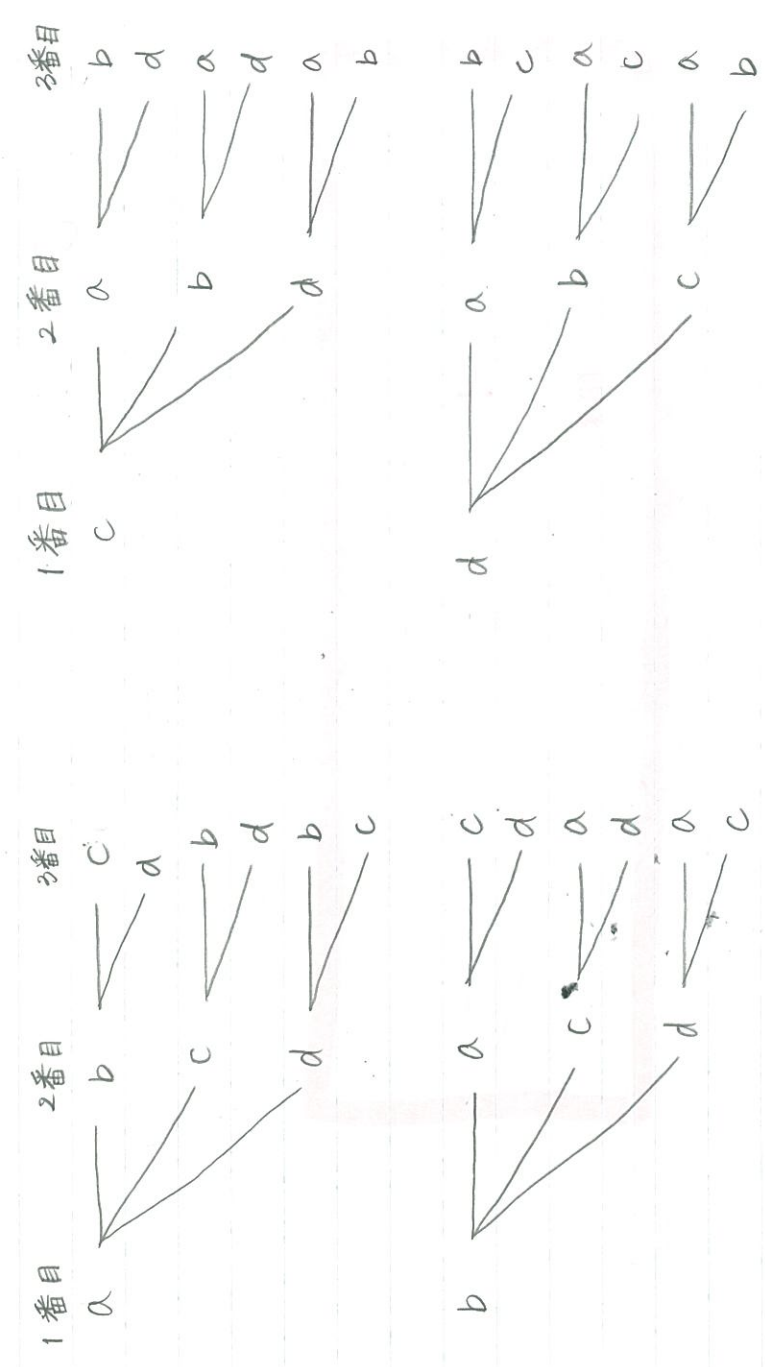
1, 2, 2<sup>2</sup>, 2<sup>3</sup> × 1, 3, 3<sup>2</sup>

$(3+1) \times (2+1) = 4 \times 3 = 12$  個

**3 順列**

◇ 順列の総数

4個の文字 a, b, c, dのうち、異なる3個を並べ



の24通り。

すなわち  $4 \times 3 \times 2 = 24$   
1番目 a, b, c, d 2番目 c, d, b, a 3番目 c, d, b

異なるn個のものをr個を取り出して並べる順列を

**$nPr$**  と表す。

今回は、

$4P_3 = 4 \times 3 \times 2 = 24$



4個から3個取り出す順列

順列の総数  $nPr$

$${}_n P_r = n(n-1)(n-2) \dots (n-r+1)$$

$r$  個

例4 7人から3人を選んで1列に並べる

$${}_7 P_3 = 7 \times 6 \times 5 = 210 \text{ (通り)}$$

$r < n$ ,  $r = n$  のとき,

$${}_n P_n = n! = n(n-1)(n-2) \dots \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1$$

※  $n!$  (nの階乗)

例5 4人の生徒全員を1列に並べる。

4人から4人並べる

$${}_4 P_4 = 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 24 \text{ (通り)}$$

◇ 順列の考え方の利用

例題4 1から10までの10枚の番号札の並び方をA, B, Cの3人に

1枚ずつ配ると、配り方は何通りあるか。

10枚の3枚を選んで並べるのと同じだから

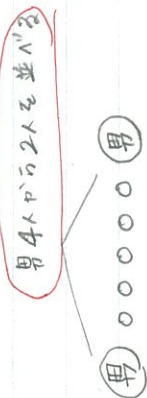
$${}_{{}_{10} P_3} = 10 \cdot 9 \cdot 8 = 720 \text{ (通り)}$$

例4

(男) 4人, (女) 3人が1列に並ぶとき, (訂正)

(1) 両端が男子

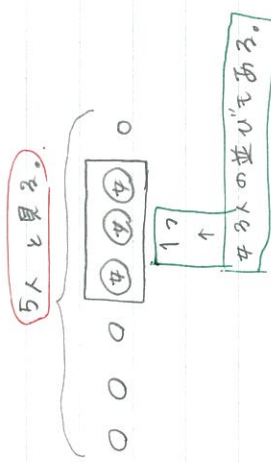
→ 両端に男子2人を固定して  
間の5人を1列に並べる。



$${}_4 P_2 \times 5! = 4 \cdot 3 \times 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 1440 \text{ (通り)}$$

(2) 女子3人が続いて並ぶ

→ 女子3人を1つにする。



$$5! \times 3! = 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 \times 3 \cdot 2 \cdot 1 = 720 \text{ (通り)}$$